

留萌市文化賞第一号受賞

昭和28年(1953)82才になったナヲは、留萌に来て以来、留萌の文化の振興に長年にわたり寄与したことから留萌市で最初となる留萌市文化賞を受賞しました。



文化賞授与式の夢沼ナヲ (紫英)

じゆしょう やまとえんしゅうりゅうさかどう ろっかくいけのぼうかどう さん
受賞理由には「大和遠州流茶華道、六角池坊華道、三

さいりゅうばんけい ほそかわりゅうぼんせき せいげつりゅうせんちやどう おうぎ きわ
才流盤景、細川流盆石、静月流煎茶道などの奥義を究め、

よわい ゆうよさい しどう たん
齢80有余歳、なおかくしゃく(※23)として斯道(※24)の探

きゅう う ようせい つと
求に倦む(※25)ことを知らず、多数の門下生養成に努めた。

わか ころ かりゅう ちまた ふぐう じよせい
若い頃、花柳の巷に不遇をかこつ女性(※26)などを集め、

さかどう きょうじゆ ふどう けんさん はげ
茶華道の教授をして婦道の研鑽を励ましたことも人々の

知るところである。

また、多年にわたり留萌高等女学校の礼法教授として

女子教育に尽くし、今日まで公私両面にわたる門下生は

とうきょう ふくおか ふく よにん
東京、福岡まで含めて、5,000余人と言われている。

※23 かくしゃく

年をとっても、丈夫で元気の良い様子

※24 斯道

学問や技芸などで、この道、この分野

※25 倦む

いやになる、あきる

※26 花柳の巷に不遇をかこつ女性

家の事情で幼くして花柳界に入り苦労した女の人たち

めいじ いらい げいじゆつ しんこう のこ こうせき
明治43 年以來、留萌市の芸術、社会教育振興に残した功績」

とあります。

なお、昭和 30 年(1955)84 才の時には、全国社会教育

こうろうしょう じゆしょう
功劳賞を受賞しています。



ばんねん たでぬま しえい
晩年の蓼沼ナヲ (紫英)